

# 平成20年第1回景況調査結果について

2008年3月6日  
三重県農水商工部  
(財)三重県産業支援センター

## 調査要領

1. 調査時点：2008年1月(下旬)
2. 調査対象：県内全域の企業1,000社
3. 調査方法：FAX及びインターネットによるアンケート調査
4. 回答状況：337社(有効回答率 33.7%)
5. 調査企業の産業、従業員数、地域別(県民センター別)内訳

### 【産業別】

### 【従業員規模別】

	建設業	製造業	運輸・ 通信業	卸・ 小売業	金融・ 保険業	サービ ス業	合計	~29人	30~ 99人	100 人~	合計
対象企業数	86	287	65	267	22	273	1,000	528	219	253	1,000
回答企業数	36	92	23	81	16	89	337	146	92	99	337
構成比(%)	10.7	27.3	6.8	24.0	4.7	26.4	100.0	43.3	27.3	29.4	100.0

### 【県民センター別】

	桑名	四日市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	尾鷲	熊野	合計
対象企業数	111	224	121	152	116	132	90	29	25	1,000
回答企業数	36	83	34	58	38	38	32	8	10	337
構成比(%)	10.7	24.6	10.1	17.2	11.3	11.3	9.5	2.4	3.0	100.0

(注) 構成比等(%)については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

- (注) 桑名県民センター (桑名市・いなべ市・木曾岬町・東員町)  
 四日市県民センター (四日市市・菰野町・朝日町・川越町)  
 鈴鹿県民センター (鈴鹿市・亀山市)  
 津県民センター (津市)  
 松阪県民センター (松阪市・多気町・明和町・大台町)  
 伊勢県民センター (伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・南伊勢町・度会町・大紀町)  
 伊賀県民センター (伊賀市・名張市)  
 尾鷲県民センター (尾鷲市・紀北町)  
 熊野県民センター (熊野市・御浜町・紀宝町)

平成20年2月28日現在

## II 概要 (主な調査項目のDI値の推移)

### (1) 景況感

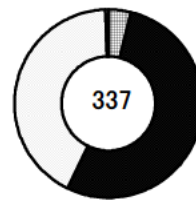
今期の県内景気は「良い」3.9%、「ふつう」53.4%、

「悪い」42.1%となっております。

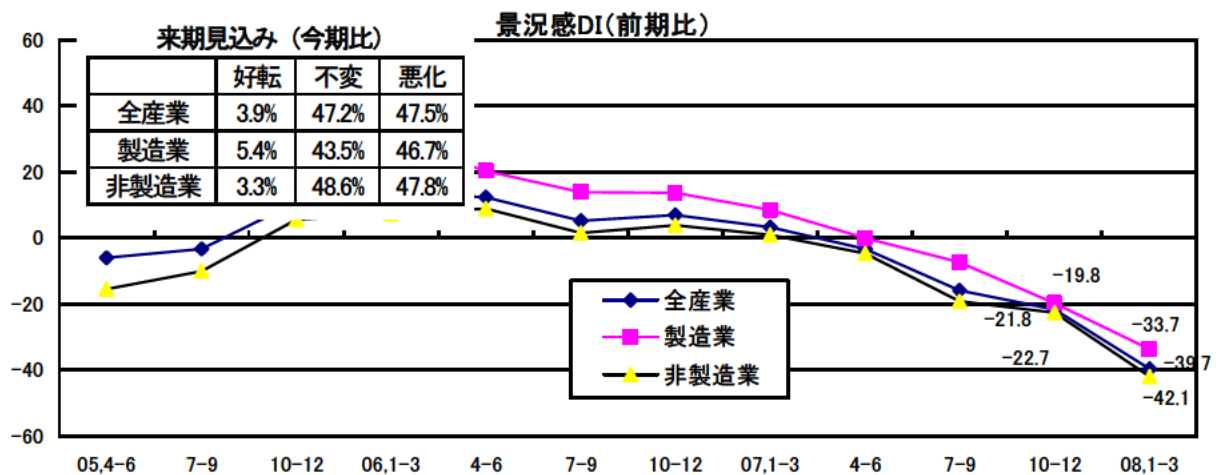
景況感DI (前期比) は全産業でマイナス39.7ポイントと前回より17.9ポイント悪化しました。

また、来期の見込み (今期比) は、全産業で「悪化」が「好転」を上回っています。

### 今期の景況感



■ 良い	3.9%
■ ふつう	53.4%
□ 悪い	42.1%
□ 無回答	0.6%

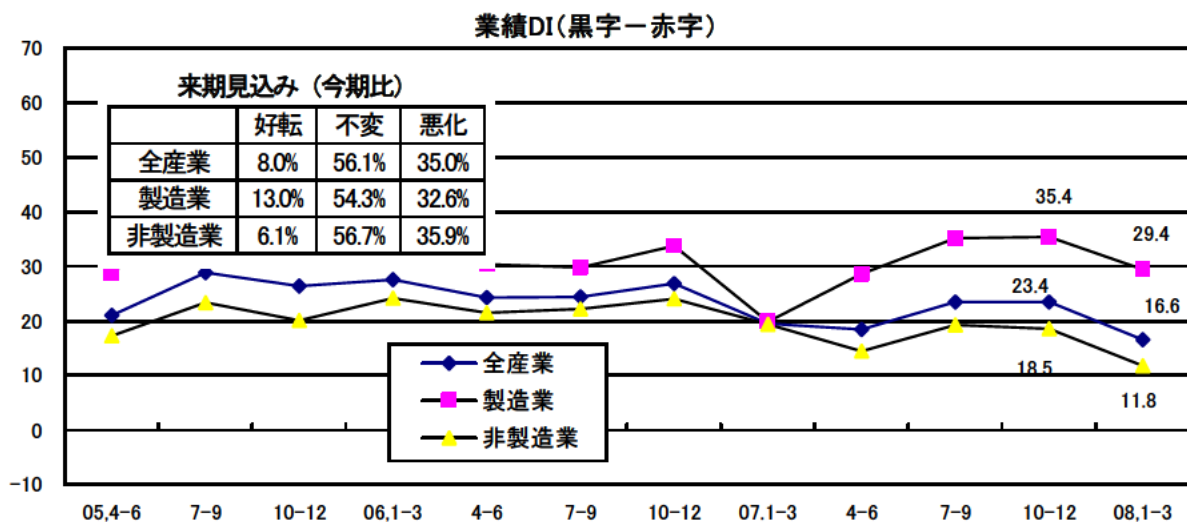


景況感DI = 前期比で「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた値

### (2) 業績

今期の業績DI (利益状況) は全産業でプラス16.6ポイントと前回は6.8ポイント悪化しましたが、「黒字」とする企業の割合が「赤字」とする企業の割合を2003年1-3月の調査から引き続き上回っております。

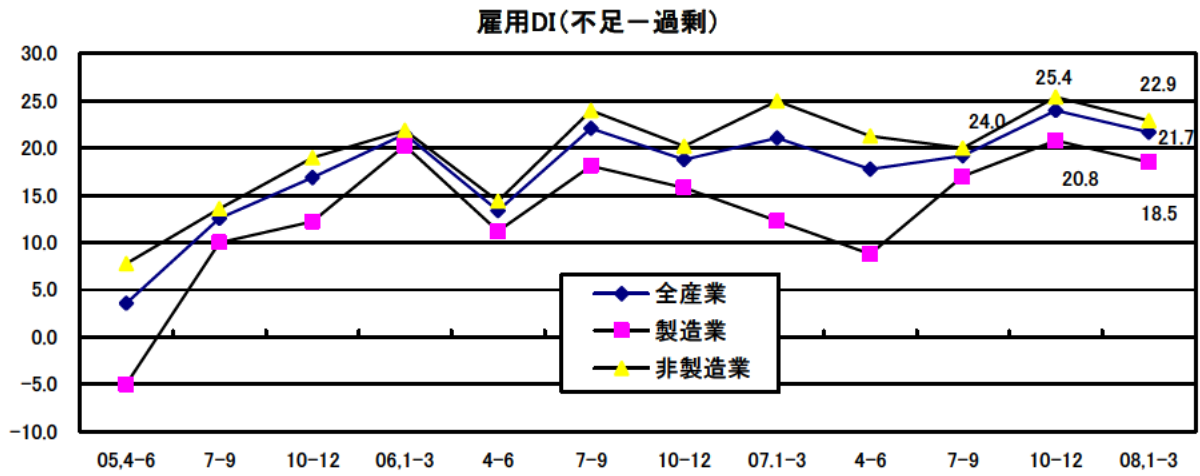
来期の見込み (今期比) は、全産業で「悪化」が「好転」を27.0ポイント上回りました。



業績DI = 今期の水準について「黒字」とする企業の割合から「赤字」とする企業の割合を引いた値

(3) 雇用

雇用DIは全産業でプラス21.7ポイントと前回より2.3ポイント悪化するも、雇用状態が「不足」とする企業の割合が「過剰」とする企業の割合を15期連続で上回っております。



雇用DI = 今期の水準について「不足」とする企業の割合から「過剰」とする企業の割合を引いた値

(4) 要約

今期の県内企業の景況は、景況感DIは前回を下回り4期連続のマイナスとなりました。業績DIは金融・保険業が前回を上回りましたが全産業では前回を下回りました。雇用DIは、依然、全産業で労働力の「不足」感を感じています。新規学卒採用は、高校卒、大学・短大卒ともに2割超の企業が採用を予定しています。

(5) 産業別

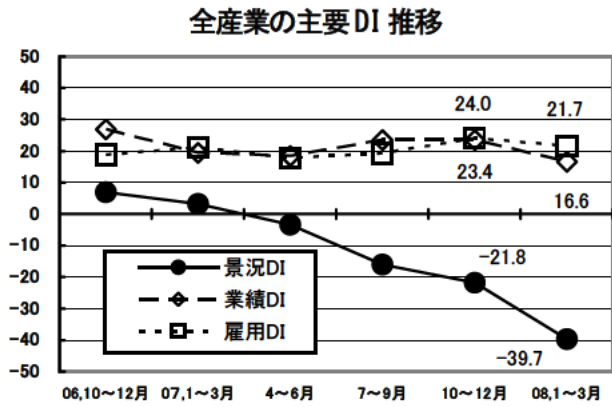
**全産業** (回答337社)

景況感はさらに悪化し、4期連続マイナス。業績、雇用も悪化。

景況感DI (前期比) は、全産業でマイナス39.7ポイントとなり、前回より17.9ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス16.6ポイントとなり、前回より6.8ポイント悪化しました。

雇用DIはプラス21.7ポイントとなり、前回より2.3ポイント悪化しました。

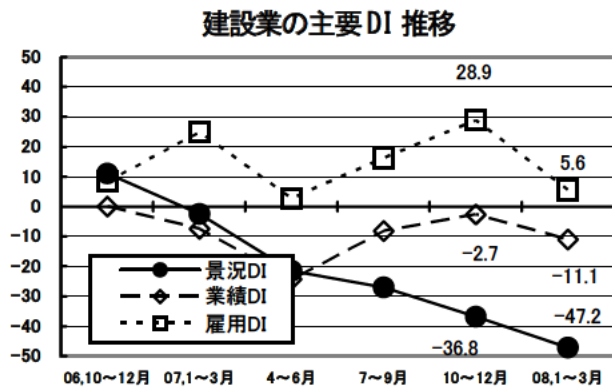


**建設業** (回答36社)

景況感はさらに悪化し、マイナスが続く。業績は悪化、雇用は大幅に悪化。

景況感DI (前期比) は、建設業でマイナス47.2ポイントとなり、前回より10.4ポイント悪化しました。また、業績DIはマイナス11.1ポイントとなり、前回より8.4ポイント悪化しました。

雇用DIはプラス5.6ポイントで、前回より23.3ポイント大幅に悪化しました。



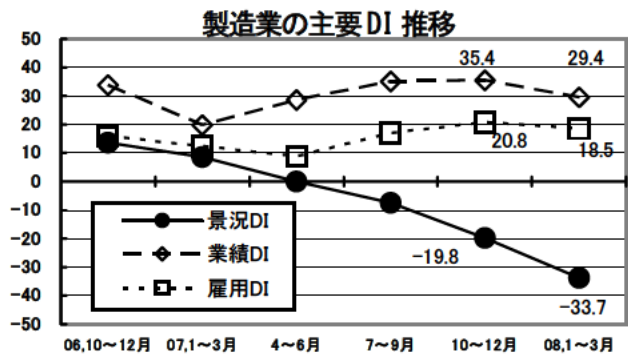
**製造業** (回答92社)

景況感はさらに悪化し、マイナスが続く。業績、雇用も悪化。

景況感DI (前期比) は、製造業でマイナス33.7ポイントとなり、前回より13.9ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス29.4ポイントとなり、前回より6.0ポイント悪化しました。

雇用DIはプラス18.5ポイントとなり、前回より2.3ポイント悪化しました。



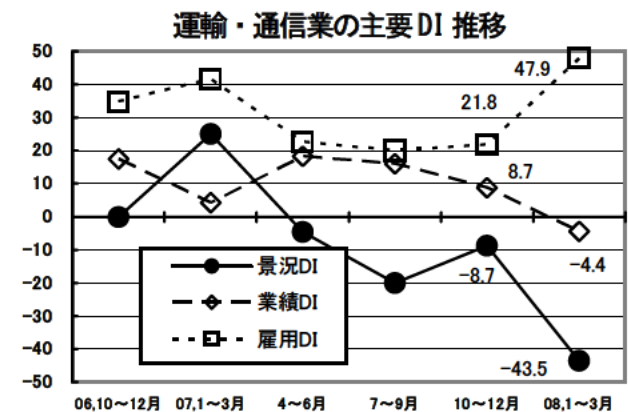
**運輸・通信業** (回答23社)

景況感は大幅に悪化。業績は引き続き悪化しマイナスへ。雇用は大きく改善。

景況感DI (前期比) は、運輸・通信業でマイナス43.5ポイントとなり、前回より34.8ポイント大幅に悪化しました。

また、業績DIはマイナス4.4ポイントとなり、前回より13.1ポイント悪化しました。

雇用DIはプラス47.9ポイントとなり、前回より26.1ポイント大きく改善しました。



## 卸・小売業 (回答 81 社)

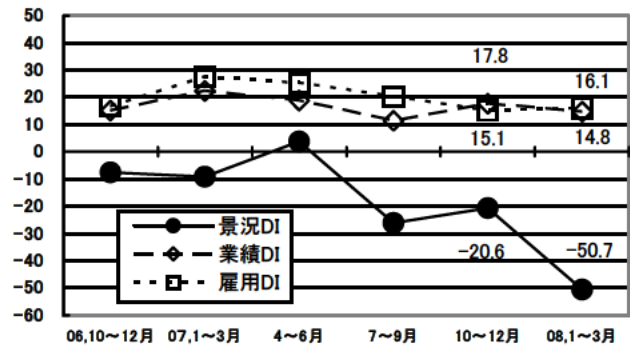
景況感は大幅に悪化。業績は悪化。  
雇用はわずかに改善。

景況感DI (前期比) は、卸・小売業でマイナス50.7ポイントとなり、前回より30.1ポイント大幅に悪化しました。

また、業績DIはプラス14.8ポイントとなり、前回より3.0ポイント悪化しました。

雇用DIはプラス16.1ポイントとなり、前回より1.0ポイントわずかに改善しました。

卸・小売業の主要DI 推移



## 金融・保険業 (回答 16 社)

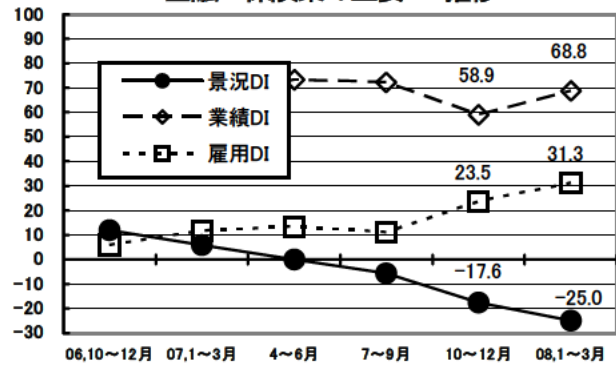
景況感はさらに悪化。  
業績は改善。雇用は改善を維持。

景況感DI (前期比) は、金融・保険業でマイナス25.0ポイントとなり、前回より7.4ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス68.8ポイントとなり、前回より9.9ポイント改善しました。

雇用DIはプラス31.3ポイントとなり、7.8ポイントと改善を維持しました。

金融・保険業の主要DI 推移



## サービス業 (回答 89 社)

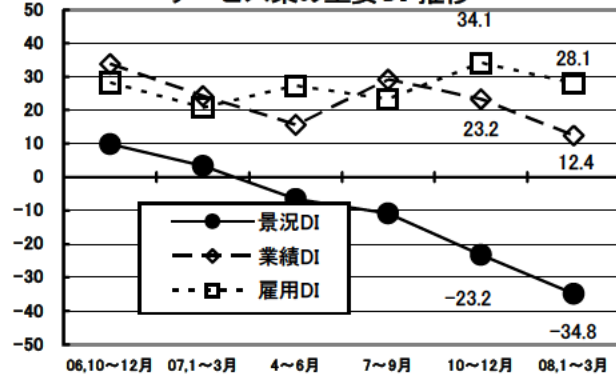
景況はさらに悪化。  
業績は悪化するがプラスを維持。雇用は悪化。

景況感DI (前期比) は、サービス業でマイナス34.8ポイントとなり、前回より11.6ポイント悪化しました。

また、業績DIはプラス12.4ポイントとなり、前回より10.8ポイント悪化しました。

雇用DIはプラス28.1ポイントとなり、前回より6.0ポイント悪化しました。

サービス業の主要DI 推移



景況感DI = 前期比で「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた値

業績DI = 今期の水準について「黒字」とする企業の割合から「赤字」とする企業の割合を引いた値

雇用DI = 今期の水準について「不足」とする企業の割合から「過剰」とする企業の割合を引いた値

※ 前期=2007年10~12月 今期=2008年1~3月 来期=2008年4~6月

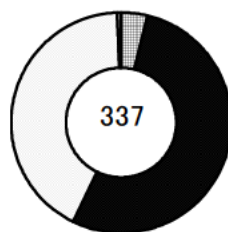
### III 県民センター別の主要DI

	桑名	四日市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	尾鷲	熊野	全体
今期景況感DI	-22.3	-30.1	-47.1	-41.4	-44.8	-50.0	-40.6	-87.5	-50.0	-39.7
前期 "	-13.8	-10.9	-28.1	-24.5	-21.9	-35.6	-20.7	-33.3	-37.5	-21.8
今期業績DI	16.6	27.7	32.3	24.1	-2.7	-5.2	25.0	-12.5	-20.0	16.6
前期 "	31.1	33.8	21.9	34.0	4.9	20.0	13.8	22.2	-25.0	23.4
今期雇用DI	19.4	31.3	23.5	17.3	13.2	15.8	21.9	12.5	30.0	21.7
前期 "	13.8	34.9	28.1	20.8	19.5	26.7	13.8	22.2	0.0	24.0

## IV全調査項目の結果詳細

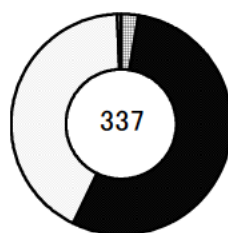
### 1. 景気

(1) 今期の県内景気については、「良い」3.9%(13社)、「ふつう」53.4%(180社)、「悪い」42.1%(142社)となっています。



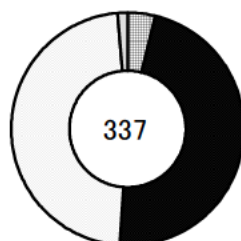
■ 良い	3.9%
■ ふつう	53.4%
□ 悪い	42.1%
□ 無回答	0.6%

(2) 前期と比べた今期の県内景気については、「好転」2.4%(8社)、「不変」54.9%(185社)、「悪化」42.1%(142社)となっています。



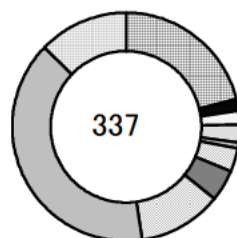
□ 好転	2.4%
■ 不変	54.9%
□ 悪化	42.1%
□ 無回答	0.6%

(3) 今期と比べた来期の県内景気については、「好転」3.9%(13社)、「不変」47.2%(159社)、「悪化」47.5%(160社)となっています。



□ 好転	3.9%
■ 不変	47.2%
□ 悪化	47.5%
□ 無回答	1.5%

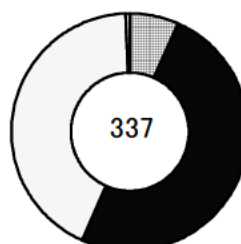
(4) 国内景気の回復時期については、「2009年1月以降」が39.5%(133社)でもっとも多く、次いで「2007年3月以前」が21.1%(71社)、「2008年10～12月」が11.9%(40社)の順となっています。



■ 2007年3月以前	21.1%
■ 2007年4～6月	1.8%
□ 2007年7～9月	1.8%
□ 2007年10～12月	2.7%
■ 2008年1～3月	0.9%
□ 2008年4～6月	3.3%
■ 2008年7～9月	4.5%
□ 2008年10～12月	11.9%
□ 2009年1月以降	39.5%
□ 無回答	12.8%

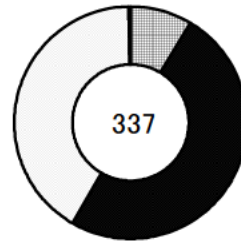
### 2. 業況

(1) 今期の業況については、「良い」6.5%(22社)、「ふつう」50.1%(169社)、「悪い」42.7%(144社)となっています。



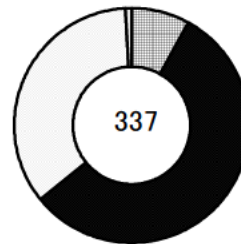
□ 良い	6.5%
■ ふつう	50.1%
□ 悪い	42.7%
□ 無回答	0.6%

(2) 前期と比べた今期の業況については、「好転」8.6% (29社)、「不変」49.9% (168社)、「悪化」41.2% (139社) となっています。



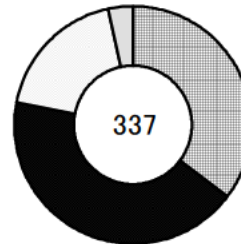
□好転	8.6%
■不変	49.9%
□悪化	41.2%
□無回答	0.3%

(3) 今期と比べた来期の業況見込みについては、「好転」8.0% (27社)、「不変」56.1% (189社)、「悪化」35.0% (118社) となっています。



□好転	8.0%
■不変	56.1%
□悪化	35.0%
□無回答	0.9%

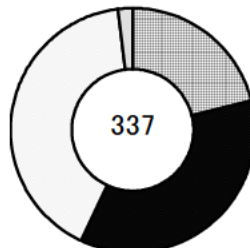
(4) 今期の利益状況については、「黒字」35.3% (119社)、「収支均衡」42.7% (144社)、「赤字」18.7% (63社) となっています。



□黒字	35.3%
■収支均衡	42.7%
□赤字	18.7%
□無回答	3.3%

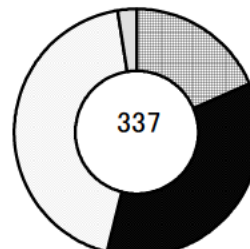
### 3. 売上高

(1) 売上高の前期比較については、「増加」21.1% (71社)、「不変」35.9% (121社)、「減少」40.9% (138社) となっています。



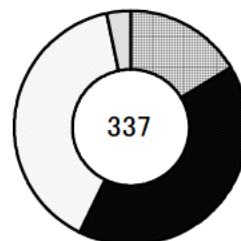
□増加	21.1%
■不変	35.9%
□減少	40.9%
□無回答	2.1%

(2) 売上高の前年同期比較については、「増加」18.7% (63社)、「不変」35.3% (119社)、「減少」43.6% (147社) となっています。



□増加	18.7%
■不変	35.3%
□減少	43.6%
□無回答	2.4%

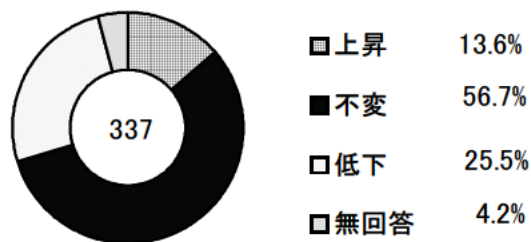
(3) 売上高の来期見込みについては、「増加」16.3% (55社)、「不変」40.9% (138社)、「減少」39.5% (133社) となっています。



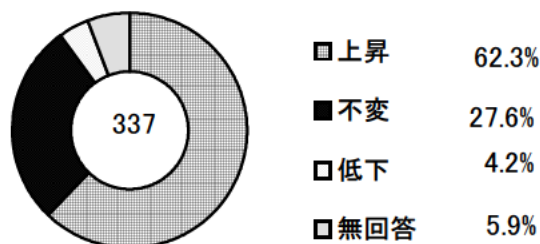
□増加	16.3%
■不変	40.9%
□減少	39.5%
□無回答	3.3%

#### 4. 価格

(1) 今期の販売価格・受注単価については、「上昇」13.6% (46社)、「不変」56.7% (191社)、「低下」25.5% (86社) となっています。



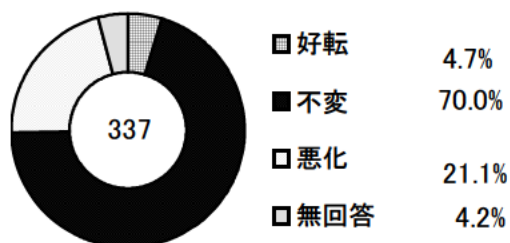
(2) 今期の仕入価格 (原材料・商品) については、「上昇」62.3% (210社)、「不変」27.6% (93社)、「低下」4.2% (14社) となっています。



#### 5. 資金繰り

(1)・(2) 資金繰りについては、今期が70.0%、来期も70.3%の企業が「不変」としており、今期は「好転」が4.7% (16社)、「悪化」が21.1% (71社)、来期は「好転」が4.5% (15社)、「悪化」が20.5% (69社) と、今期・来期とも「悪化」が「好転」を上回っています。

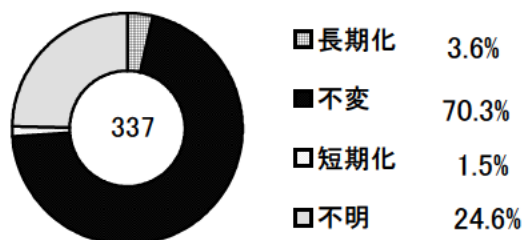
今期資金繰り (前期比)



来期資金繰り (今期比)

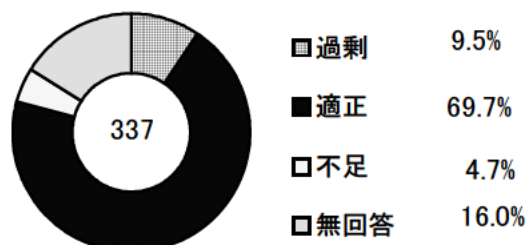


(3) 受取手形の期間は、「長期化」3.6% (12社)、「不変」70.3% (237社)、「短期化」1.5% (5社) となっています。



#### 6. 製品 (商品)・原材料在庫

現在の製品在庫状況については、「過剰」9.5% (32社)、「適正」69.7% (235社)、「不足」4.7% (16社) となっています。

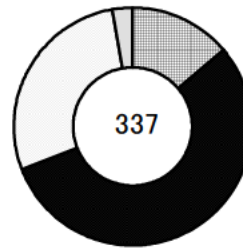




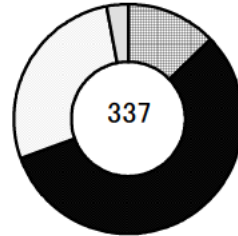
## 7. 設備投資意欲

〔設備投資意欲〕

(1) 前期と比べた今期の設備投資意欲については、「上昇」13.9% (47社)、「不変」55.2% (186社)、「下降」28.2% (95社) となっています。

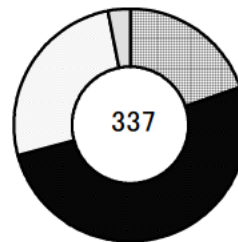


(2) 今期と比べた来期の設備投資意欲は、「上昇」12.8% (43社)、「不変」56.7% (191社)、「下降」27.6% (93社) となっています。

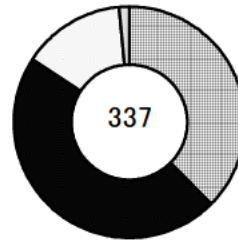


〔設備投資状況〕

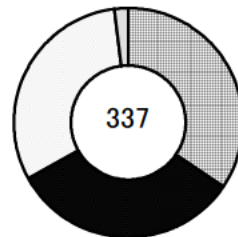
(3) 平成18年度下半期(2006年10月～2007年3月)と比べた平成19年度下半期(2007年10月～2008年3月)の設備投資計画額は、「増加」19.6% (66社)、「不変」51.3% (173社)、「減少」26.1% (88社) となっています。



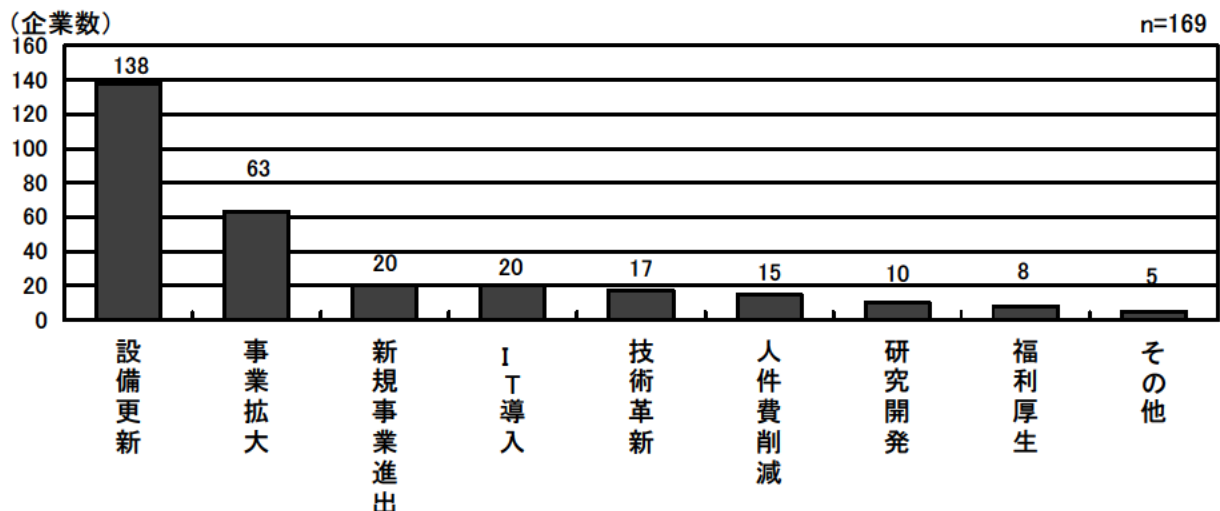
(4) 今期の設備投資予定は、「する」37.4% (126社)、「しない」46.9% (158社)、「未定」14.2% (48社) となっています。



(5) 来期の設備投資予定は、「する」34.4% (116社)、「しない」32.6% (110社)、「未定」30.9% (104社) となっています。

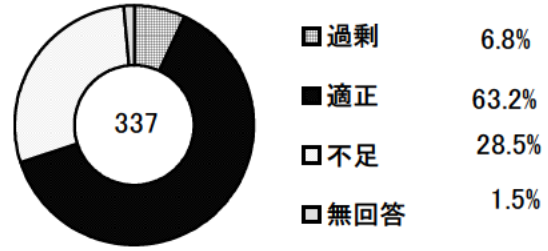


(6) 設備投資の主目的は、「設備更新」81.7% (138社)、「事業拡大」37.3% (63社) の順となっています。(複数回答可)

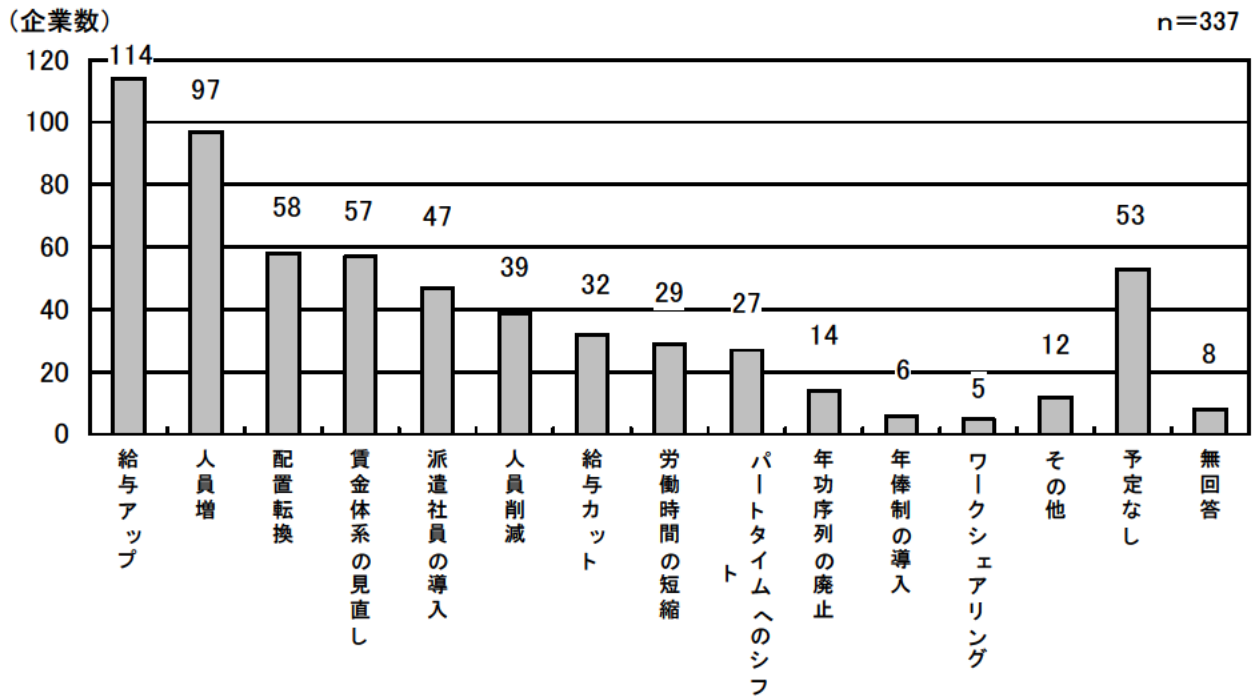


## 8. 雇用状態

(1) 今期の雇用状態については、「過剰」6.8% (23社)、「適正」63.2% (213社)、「不足」28.5% (96社) となっています。



(2) 過去1年に行った、あるいは行う予定の雇用問題対策は、「給与アップ」33.8% (114社)、「人員増」28.8% (97社)、「配置転換」が17.2% (58社) の順となっています。(複数回答可)

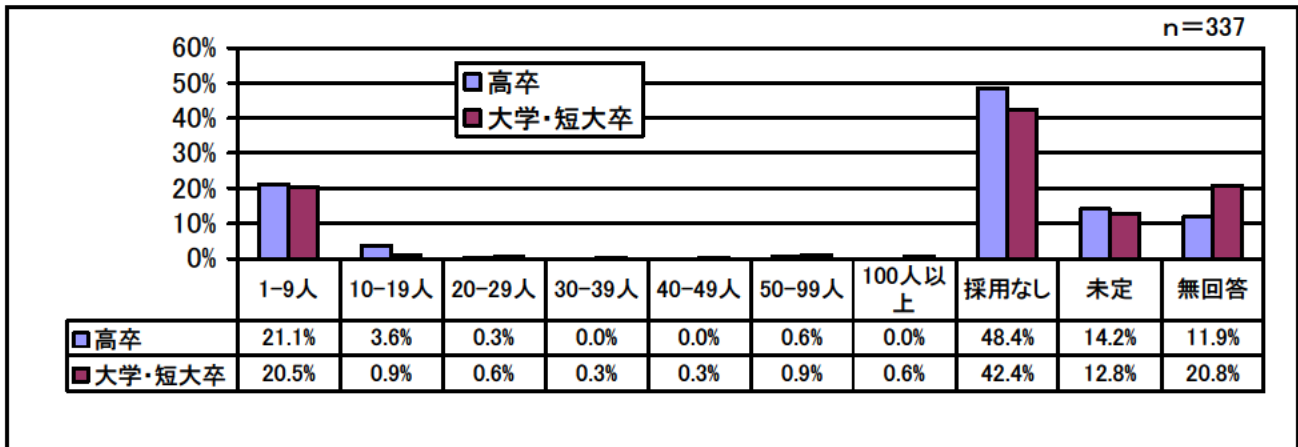


## 9. 採用

(1) 平成20年度の新規学卒者採用者数

高卒者を新規に採用する企業は25.5% (86社) で採用しない企業は48.4% (163社) でした。採用企業において「1~9人」21.1% (71社)、「10~19人」3.6% (12社) の順になっております。

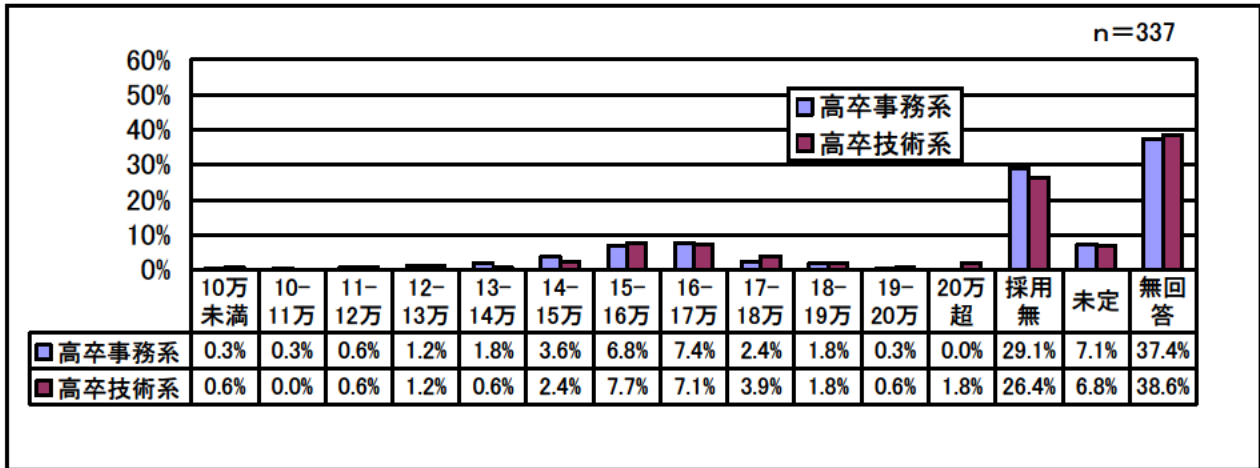
大学・短大卒者を新規に採用する企業は24.0% (81社) で採用しない企業は42.4% (143社) でした。採用企業において「1~9人」20.5% (69社)、「10~19人」0.9% (3社) と「50~99人」0.9% (3社) の順になっております。



(2)平成20年度の新規学卒者初任給

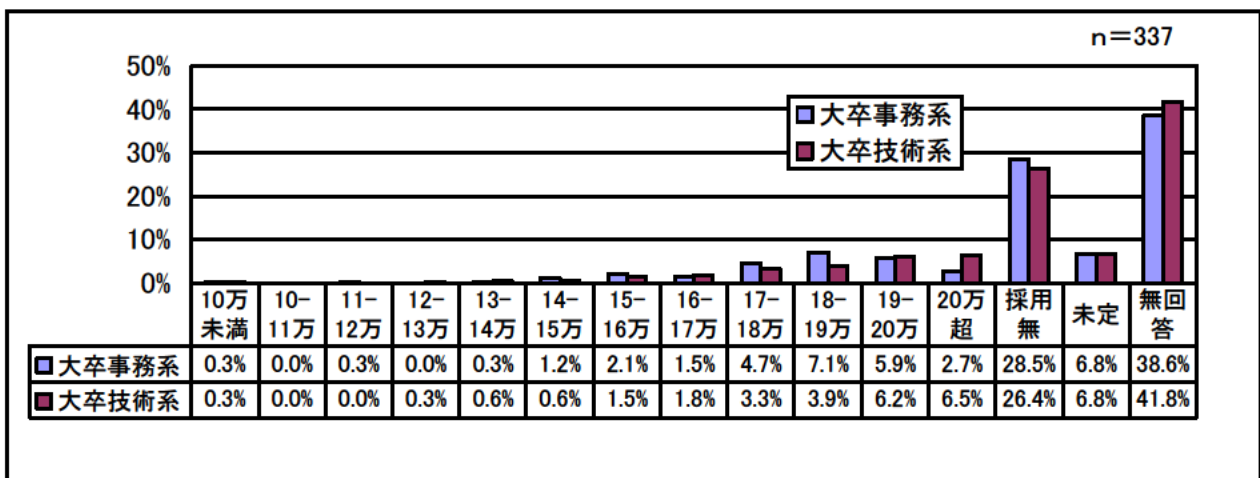
平成20年度の新規学卒者初任給は高卒事務系において、「16-17万円未満」7.4% (25社)、「15-16万円未満」6.8% (23社)、「14-15万円未満」3.6% (12社)の順になっております。

平成20年度の新規学卒者初任給は高卒技術系において、「15-16万円未満」7.7% (26社)、「16-17万円未満」7.1% (24社)、「17-18万円未満」3.9% (13社)の順になっております。



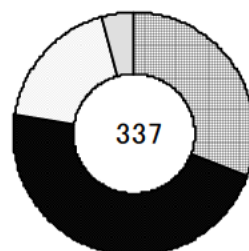
平成20年度の新規学卒者初任給は大卒(短大卒含む)事務系において、「18-19万円未満」7.1% (24社)、「19-20万円未満」5.9% (20社)、「17-18万円未満」4.7% (16社)の順になっております。

平成20年度の新規学卒者初任給は大卒(短大卒含む)技術系において、「20万円以上」6.5% (22社)、「19-20万円未満」6.2% (21社)、「18-19万円未満」3.9% (13社)の順になっております。



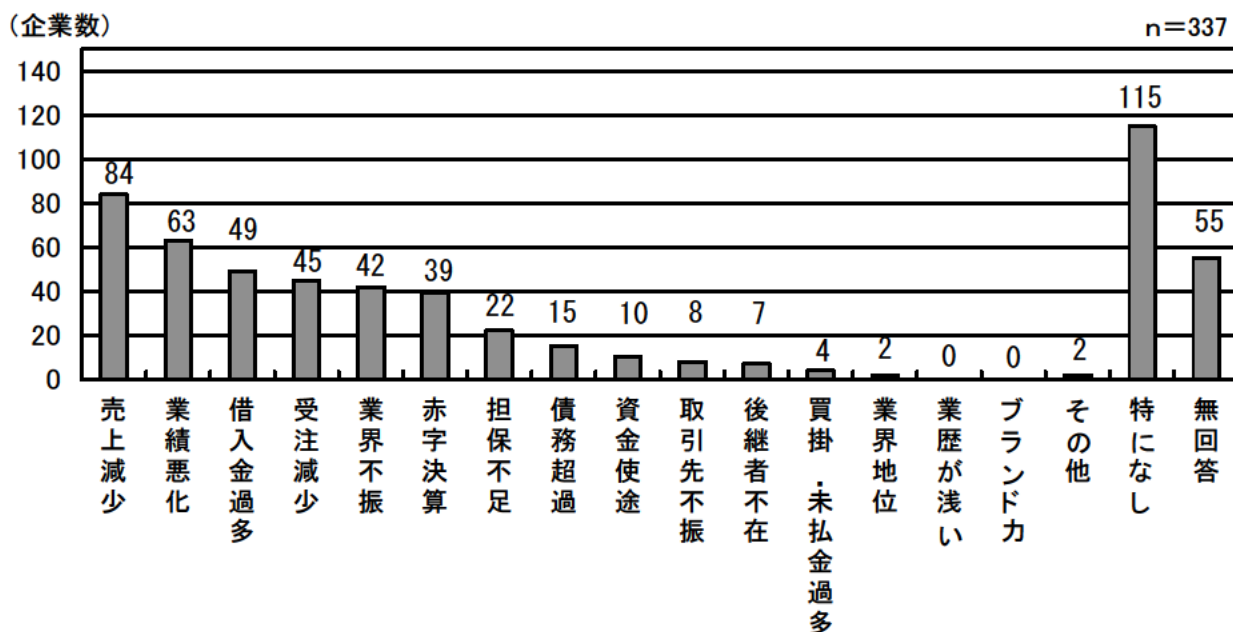
10. 資金調達

(1) 新規の借入を行う必要については、「ある」30.6% (103社)、「ない」46.9% (158社)となっております。

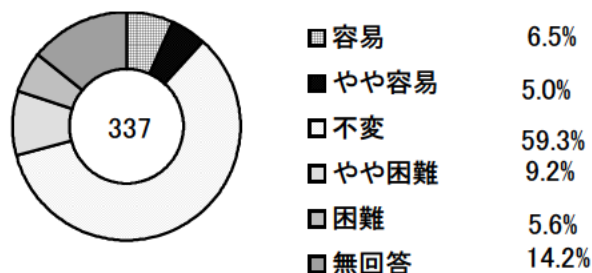


■ある	30.6%
■ない	46.9%
□分からない	18.1%
□無回答	4.5%

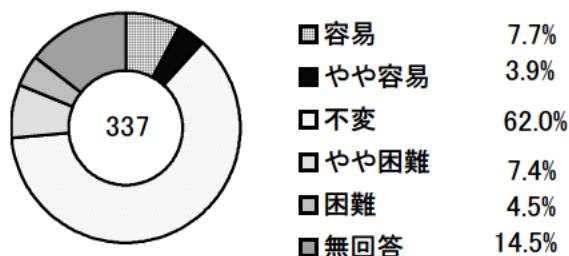
(2) 借入にあたっての問題については、「売上減少」24.9% (84社)、「業績悪化」18.7% (63社)、「借入金過多」14.5% (49社)の順となっています。(複数回答可)



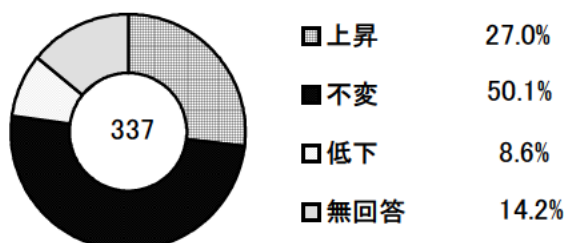
(3) 前期と比べた今期の長期資金借入れ難度は、「容易」6.5% (22社)、「やや容易」5.0% (17社)、「不変」59.3% (200社)、「やや困難」9.2% (31社)、「困難」5.6% (19社)となっています。



(4) 前期と比べた今期の短期資金借入れ難度は、「容易」7.7% (26社)、「やや容易」3.9% (13社)、「不変」62.0% (209社)、「やや困難」7.4% (25社)、「困難」4.5% (15社)となっています。

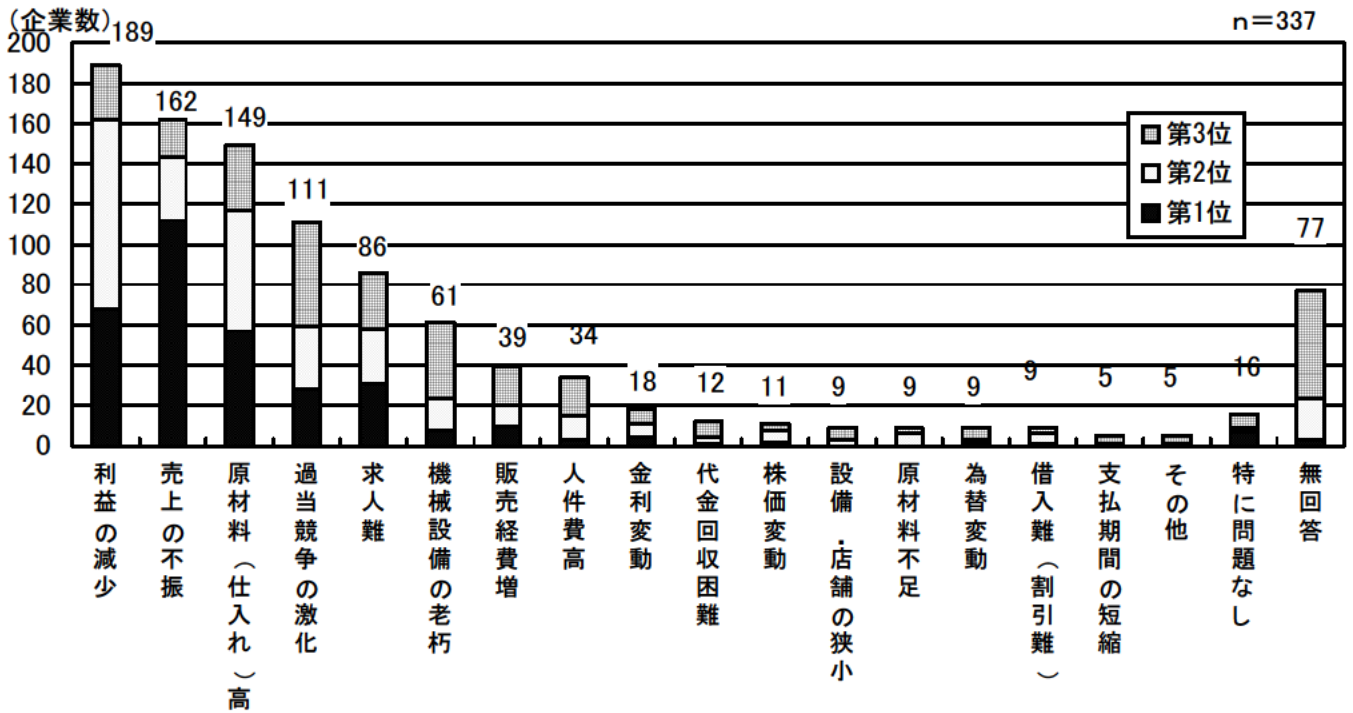


(5) 前期と比べた今期の借入れ金利は、「上昇」27.0% (91社)、「不変」50.1% (169社)、「低下」8.6% (29社)となっています。



### 1.1. 経営上の問題

(1) 経営上の問題点としては、「利益の減少」56.1% (189社)、「売上の不振」48.0% (162社)、「原材料(仕入れ)高」44.2% (149社)の順となっています。(上位3項目選択)



(2) 効果があると考えられる公共機関が行う企業支援策としては、「減税」65.0% (219社)、「助成制度」34.1% (115社)、「公共事業の増加」28.5% (96社)の順となっています。(複数回答可)

